

# 効果的な防犯行動と住まいの防犯対策

住宅への侵入犯罪は、いつ、どんなときに被害に遭うかわかりません。自分や家族の命と財産を守るためには、一人一人が高い防犯意識と正しい防犯知識を持つことが大切です。

- まずは自分の行動から 自主防犯行動10カ条**
- 1 在宅時でも出入り口や無人の部屋の窓に鍵をかける習慣を付けること。
  - 2 訪問者に対しては、不用意にドアを開ける前、「まずドアロックやインターホン越しに確認すること」※宅配業者の訪問を機動した手口には、荷物の受け取りに宅配ボックスを活用など、宅配の荷物を直接受け取らない方法にすることが大切です。
  - 3 外出先から帰宅した際は、背後や周囲に人がいないか、よく確認すること。
- 住宅の防犯対策**
- 4 日頃から建物の周囲を整理整頓し、侵入されにくい環境を整えること。
  - 5 玄関をツーロックに、窓に補助錠を取り付けるなど、防犯設備を充実させること。建物部品を選ぶときは、防犯性能の高いものを選ぶこと。
  - 6 設置した防犯設備機器を有効に役立てること。
  - 7 旅行などで長期不在にするときは、隣近所声をかけ合ったり、郵便物・新聞などの配達を止めたりするなどの対応をすべし。
- 日常での心構え**
- 8 合鍵の不正複製を防止するため、鍵を家族以外の人には「貸さない」「渡さない」「写真や動画に写さない」。
  - 9 自宅に必要以上の現金を置かないこと。電話などで在宅状況、家族の状況、資産状況を聞かれても答えなさい。
  - 10 不審を感じた場合は、ためらわずに110番通報すること。



一戸建て住宅

**ここに注意!**

庭木が窓の前にあり、家の周囲からの見通しが悪い状態になっています。見通しが悪いと、周囲からの死角になりやすく、侵入の目撃しやすさや侵入者が身を隠す場所となる場合があります。周囲からの見通しを良くして、侵入者が身を隠さないように、庭木の手入れは小まめに行いましょう。

物置やエアコンの室外機は、2階への足場にならないように留意しましょう。庭や敷地内の空き地には、足音が立つ砂利などを敷くと良いですよ。

イラストのような家は門扉などがなく、誰でも自由に入出入りできるようになっています。門扉やインターホンなどを取り付けて、敷地内へ簡単に出入りできないようにしましょう。



共同住宅

共同住宅は、敷地を区画する塀、柵、垣がないことも。塀、柵、垣があっても、見通しを妨げるものや、簡単に乗り越えられるようなものであったり、窓やバルコニーなどへの足場となるようなものであったりしてはいけません。侵入の足場とならないように配置や高さが工夫されているが、縦格子フェンスなど、簡単に乗り越えられない作りになっていることが望ましいでしょう。

侵入犯罪は、巧妙かつ凶悪な手口が増えています。

最新の防犯知識を得て対策を立てるとともに、不審な人がいた、何かがおかしいなどの異変を感じたら、ためらうことなく110番通報することが大切です。



# 空き巣や強盗から命と財産を守る 住まいの防犯

ニュースなどで報じられている通り、手口が巧妙で凶悪な侵入犯罪が相次いで発生しています。防犯意識を高め、住まいの防犯対策をさらに強化することが、今、私たちに求められています。

参考資料: 政府広報オンライン  
イラスト: 観音新一郎

## 知っておこう。侵入犯罪の手口

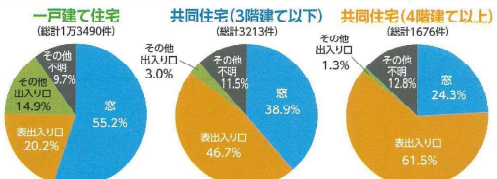
まず、警察庁が公表している「侵入窃盗における侵入手口」のデータを見てみましょう。空き巣をはじめとした侵入窃盗の多くは、いづれの形態の住宅においても鍵のかけないままに侵入していることが分かります。表にある「無締まり」がそれです。どんなに強固な鍵を設置していても、施錠をしなければまったく意味がありません。少しの間だから大丈夫と、玄関などの鍵をかけたまま、お出かけしてしまったり、洗濯物を干したりしていませんか? ほんの少しの外出であっても、必ず施錠する習慣を日頃から身に付けておきましょう。

### 侵入窃盗における侵入手口(2023年)

	1位	2位	3位
一戸建て住宅	無締まり 6250件	ガラス破り 4833件	合鍵 347件
共同住宅(3階建て以下)	無締まり 1602件	ガラス破り 594件	合鍵 432件
共同住宅(4階建て以上)	無締まり 697件	合鍵 338件	ガラス破り 171件

不在にする際には戸戸などを開ける、窓に補助錠を取り付ける、窓ガラスの全面に防犯フィルムを貼るといった対策も有効です。マンションなど、4階建て以上の共同住宅では「合鍵」による侵入も多くなります。合鍵を玄関の周囲や郵便受けなどに隠していても、合鍵を家の外には絶対に置かないようにしましょう。

### 侵入窃盗における侵入口の構成比(2023年)



※構成比は、数値2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100%にはなりません。資料: 警察庁「住まいの防犯110番」から政府広報室作成

## CP部品と防犯対策

鍵のかけ忘れといった不注意を減らすなど、ちょっとしたことで侵入犯罪の防止を図ることは可能ですが、それだけでは不十分な場合もあります。ピッキングやサムターン回しはもちろんなこと、ドア本体をこじ開ける手口も発生しています。このような荒々しい手口に対応するため、CP部品(防犯性能の高い建物部品)を導入して、侵入口となる窓や玄関口を物理的に強化する他、防犯カメラやセンサーライトを設置するなど、物理的な防犯対策を施すことも効果的です。



CP部品の詳細については、左のウェブサイトで詳しく紹介されています。  
5014年犯罪被害防犯対策推進委員会  
促進協議会ウェブサイトCP部材紹介

### ドア錠こじ破り

パールなどの工具をドアと錠の隙間に入れて、この原理で強引にドア錠を壊して開ける手口です。強引ですが、通常のドアや錠なら短時間で破られてしまいます。

### サムターン回し

ドリルを使ってドアに穴を開けるなどして、リムターン(ドアの錠を室内側から施錠・解錠するために付けられたつまみ)を外から操作して侵入する手口です。

### ピッキング

ピックと呼ばれる金属製の特殊工具を鍵穴に入れ、ドア錠を短時間で開ける手口です。ピッキング手口に対応した錠でなければ、1分もかからずに開錠されて室内に侵入されてしまいます。

### ガラス破り

ベランダなどの窓ガラスを破壊し、割れた部分から手を入れて解錠します。通常のガラスであれば数秒で解錠されてしまいます。防犯対策に有効と思われるが、ちね網入りガラスは、本来防火用として開発されたガラスのため、侵入防止に効果はありません。クレセント錠(室内側に取り付けられる締め金具)や、補助錠の付近の窓ガラスにだけ部分的にフィルムを貼っても、さらに大きな範囲で割るだけなので、防犯対策には不十分といえます。防犯フィルムを貼るときは窓ガラスの全面に貼りましょう。

具体的な侵入方法を知って 防犯対策の参考に!